

2009/04/29(水)11:02

科目名	情報数学II															
英文	Information Mathematics															
担当教員(カナ)	石川 晋(イシカワ ススム)、宋 宇(ソウ ウ)															
E-mail	ishikawa@fit.ac.jp,song@fit.ac.jp				研究室	B棟8階										
学科	システムマネジメント学科				学年	2	開講学期	2009年度 前期								
必修・選択	選択				単位数	2	授業形式	講義								
キーワード	グラフ理論				関連リンク											
授業内容	1. グラフ理論の基本概念(部分グラフ、完全グラフ、正則グラフ、オイラー路、ハミルトン路、木など) 2. 有向グラフ 3. 重みつきグラフ 4. 平面グラフ															
学習目標A～Hを達成するために費やされる時間の割合(%)	A		B		C	60	D		E	10	F	10	G	10	H	10
学習目標に対するこの授業の達成目標	1. いろんな現象をグラフ化する能力養成 2. 頂点の次数や最短路の決定などのアルゴリズムの習得 3. グラフ理論で有名な各種の問題の応用															
成績評価の方法	成績の評価では、毎週出題するホームワーク課題のレポート提出回数や授業への出席回数も考慮する。原則的には期末試験の得点による。															
教科書・参考書	教科書: 無し 配布プリントに沿っての講義 参考書: 恵羅 博、土屋守正著 グラフ理論 産業図書 ハーツフィールド、リンゲル著 鈴木晋一訳 グラフ理論入門 サイエンス社 ウィルソン著 グラフ理論入門 西関隆夫、西関裕子訳 近代科学社															
履修の前提となる科目	高校数学 A と I															
関連科目																
授業計画	1. グラフとは グラフ理論の歴史とその基本概念その1 2. グラフ理論の基本概念その2 3. グラフの分類その1 4. グラフの分類その2 5. グラフの分類その3 6. グラフに関するいろんな例題その1 7. グラフに関するいろんな例題その2 8. グラフに関するいろんな例題その3 9. グラフの応用その1 10. グラフの応用その2 11. グラフの応用その3 12. グラフの応用その4 13. グラフの応用その5 14. 期末試験 15. 期末試験の総括と再(追)試験															
履修上のアドバイス	毎週出題するホームワークはその日の講義内容を体得させるための、易しい課題を中心にしたものですから、手を抜かずにレポートすることが大切です。そのことさえサボらずに続けて行けば、次の授業も面白く感じるようになるはずです。															